

は、過去4年間の事業検証、事業評価を行い、借金に頼らない財政健全化を推進し、情報公開を積極的に進めながら、町民の皆様との信頼関係を深めてまいります。

2 点目は、町民と行政一体型の産業振興です。

給食センターへの食材供給や食育事業の推進など地産地消の具体的施策を中心に町民主導の「まちおこし」支援の助成を行い、町民と行政一体型の産業振興を目指します。

3 点目は、未来を担う子供たちの育成支援です。

中学生への医療費無料化、放課後児童クラブの実施。学びたい子供たちへ町独自の奨学金制度の新設など、子供たちが将来への希望を持てるよう格差のない教育体制や共働き家族も安心して働ける環境づくりを推進します。

4 点目は、町民参加のまちづくりと女性委員の登用です。

町民と膝を交えた座談会の意見を行政運営に積極的に反映させる所存であります。そして、各種審議会・協議会への女性委員の積極的な登用や老若男女の活発なアイディアを町政に反映させてまいります。

5 点目は、安心して住める町づくりです。

「敬老のまち 横芝光町」をテーマに、東陽病院の医師不足解消に努めるとともに、介護施設等の整備充実を図ります。また、安心して生活できる環境・地域づくりを目指します。

以上が私の公約であります。去る4月23日の初登庁時において、私は役場幹部職員に対し、この公約を念頭に常に町民の目線に立ちながら、全体の奉仕者として自覚と責任をもって職務遂行にあたり、町民の皆様と協働して、職員が一枚岩となつて目標に取り組み「きらりと光る横芝光町」を築

いていただきたいと要望させていただきました。

企業は利潤を追求し、税金という形で社会に還元しますが、私たち公務員はサービスという形で町民の皆様に還元しなければなりません。

社会経済情勢が目まぐるしく変化する今日、地方行政を取り巻く環境は大変厳しいものがございますが、「すべては町民のために」の理念の下、これからの4年間、公約の実現に向け全力を挙げて町政運営に取り組んでまいります。

結びに、町民の皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、皆様のご指導、ご助言、ご協力をお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

副町長に鈴木氏が就任



副町長 鈴木 孝一

就任あいさつ

5月17日の臨時議会において、議会の同意をいただき、副町長に就任いたしました鈴木孝一でございます。よろしくお願い申し上げます。

横芝光町も合併してから4年が経過し、町民の皆様方の中に、町に対する郷土意識も高まってきたと思っておりますが、なにせ上総、下総の国を越えての合併であり、まだまだ十分とはいえない部分も見受けられますので、更に町民の皆様の融和、一体化策を進めてまいります。

その他、当町を取り巻く社会経済環境も大変厳しいものがありますが、健全な町財政を堅持しつつ、産業の振興、子供施策の充実、敬老の町づくりなど積極的に取り組んでいかなければなりません。

私は、いままでの行政経験をもとに、微力ではありますが、齊藤町長が進める「すべては町民のために」を基本とした各種施策の実現に、全力で頑張っていく所存でありますので、皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。